令和８年度

令和８年10月19日（月）

総合教育会議

スポーツツーリズムの推進について
～スポーツで創る　つながる　射水～



射水市教育委員会
生涯学習・スポーツ課

スポーツツーリズムとは

スポーツ資源とツーリズムを融合する取り組みで、スポーツ参加や観戦を目的とした旅行とそれらを実践する仕組みや考え方と捉えられており、『スポーツで人を動かす仕組みづくり』のこと。



＋旅行　例：マラソン大会、サイクリング
スポーツ参加を目的とした旅行

＋旅行　例：プロスポーツ、全国大会
競技観戦のため地域を訪れる旅行

＋旅行　例：合宿や大会への帯同、運営ボランティア
競技を裏方で支えることを目的とした旅行

地域スポーツコミッション

スポーツツーリズムの司令塔となる組織＝スポーツコミッション

●**富山県スポーツコミッション**（令和７年５月～）
【戦略】
・市町村のスポーツ振興の取組みをつなぐ
・プロ・トップスポーツチームと地域をつなぐ
・県総合運動公園を中心とするエリアと人をつなぐ



県内全域のスポーツ施設が対象。富山市を中心に宿泊されるケースが多い。
本市への波及効果は限定的。
　⇒本市ならではの資源を活用できる独自のスポーツコミッションの設立が必要。

先進地事例

●金沢文化スポーツコミッション

⑴文化・スポーツイベントの誘致推進
　地元団体を支援し地元団体と連携して、全国大会・国際大会等を誘致する。
⑵普及・交流の促進
　誘致した大会等において、地域のイベントになるよう参加者と市民をつなぐ。
⑶金沢ブランドの醸成・発信
　文化×スポーツのコラボで金沢ならではのおもてなし。
　金沢ファンを作り、周遊や再訪につなげる。
例：卓球×金箔貼り、金沢城で朝ヨガ、大会参加者限定LINE

●那須塩原スポーツコミッション

⑴合宿・大規模スポーツ大会の誘致、開催支援
　相談・支援窓口をワンストップ化
⑵合宿飯の開発
　那須塩原ブランド食材を使用した合宿飯を那須拓陽高校と開発
⑶独自の合宿プログラムの開発
　地元医師会、プロスポーツチームと連携しプログラムを開発
⑷新たなスポーツツーリズムの開発
　スノーシュー、SUP、eバイク、eスポーツ×ツーリズム



出典　スポーツ庁

本市の現状

・人口減少、少子高齢化が進行
・交流人口、関係人口の拡大による地域活性化の必要性
・情報発信力・シティプロモーションの強化　など

本市の課題

・スポーツ人口の減少（少子高齢化による競技人口の減少、若者のスポーツ離れ）
・スポーツ施設の利用促進（利用率が低い時間帯がある、老朽化した施設が多い）
・スポーツを支える指導者、担い手の確保（指導者の高齢化、育成強化）
・部活動地域展開の推進（子どもたちがスポーツに親しめる環境づくり）
・滞在時間の延長（周遊コースの構築）
・スポーツ施設までの交通機能の強化（交通の便が良くない）　など

本市の資源

スポーツ施設



・**フットボールセンター（２０２２年開業）**
　ＪＦＡ（日本サッカー協会）公認の人工芝フィールド２面、
　屋根付きフットサル場１面を備え、サッカー、ラグビーなど多目的に利用が可能。
・**海竜スポーツランド（公認プール）**
・**小杉総合体育センター、新湊総合体育館**
・**パークゴルフ場**
・**相撲場**



本市の資源

射水ベイエリア





海王丸パーク、きっときと市場、内川など観光拠点が近接し、
移動負担が少なくフットボールセンター等にも近接しているため、
スポーツ＋観光体験を短い滞在時間でも満喫できる。

食



天然のいけすといわれる富山湾には約５００種の魚がおり、
新湊漁港は、県漁連が推奨する４大ブランド魚種「ホタルイカ」
「シロエビ」「紅ズワイガニ」「寒ブリ」がすべて水揚げされる
県内で唯一の港である。

味、香り、歯ざわりがよい黒河地区の竹の子や黒河、池多、櫛田
地区で栽培されている「幸水」や「豊水」などの梨が有名。

文化



新湊曳山祭りは、２０２５年にユネスコ無形文化遺産「山・鉾（ほこ）
・屋台行事」に登録された。
他にも大門曳山祭り、海老江曳山祭りがある。

⇒豊かな自然、観光、スポーツ施設を有する一方で、人口減少や地域経済の活性化が課題となっている。これらの課題を解決する手段の一つとしてスポーツツーリズムの推進が重要である。

スポーツツーリズムの実績

『フットボールセンター合宿等誘致促進事業補助金』

県外の各種団体が参加するスポーツ大会や合宿について、フットボールセンターへの誘致を促進し、交流人口の拡大や地域活性化を図るため、補助金を交付している。

宿泊費補助金：1人1泊あたり2,000円（上限500,000円）
交通費補助金：移動用車両の利用に要する経費の1/2もしくは20,000円に延べ使用台数を乗じた額の少ない額
（25人以上200人未満上限50,000円、200人以上上限100,000円）

【実績】

令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
０件	１件	０件	３件	１１件（予定）

延べ
約4,000泊

スポーツツーリズムの課題

（ソフト面）
・大会・合宿誘致の営業力　・コーディネート機能
・民間事業者との連携　・スポーツツーリズム推進体制
⇒地域おこし協力隊（スポーツツーリズム推進コーディネーター）
＋スポーツコミッションで解決

（ハード面）
・フットボールセンターの不足機能の充実
・海竜スポーツランドの建て替え
・合宿受入環境整備
⇒周辺施設等との連携で解決


海竜スポーツランド


新湊マリーナ


富山新港元気の森パークゴルフ場


海老江海浜公園

海竜スポーツランド

- **海竜スポーツランドの整備に関するサウンディング型市場調査**
  実施期間：令和7年12月～令和８年1月
  実施結果：参加事業者 15 事業者（建設事業者、施設運営事業者等）
  主な意見：新築の方が大規模改修に比べて、ライフサイクルコストが抑えられる。
  移転した方が、フットボールセンターとの相互利用が可能となり、
  サービス向上・利用者増が期待でき、維持管理の効率化に繋がる。

  ➡フットボールセンター東側に移転新築する提案が多数。

- **小学校水泳授業の受入**
  受入実施校：堀岡小学校、東明小学校、令和９年度から新湊放生津小学校

  ➡早期の整備の必要性

- **海竜スポーツランド再整備候補地検討支援業務委託**
  実施期間：令和８年９月～令和９年１月
  実施内容：市内全域を対象に候補地を選定し、分析を行う。

令和８年度の予定

スポーツ施設を中心に大会・合宿・イベント等の誘致と地域の観光資源、食、文化などの魅力を組み合わせ、その情報をワンストップで提供できる体制を構築する。

①いみずスポーツコミッション設立準備

フットボールセンターを核として、合宿や大会を誘致し、関係人口の創出や地域の活性化を図る。

観光協会、総合型地域スポーツクラブ、宿泊事業者、施設指定管理者、プロスポーツチーム、お土産店、飲食店、ケーブルテレビ、旅行会社、交通事業者等参加。

令和８年10月～12月　民間事業者等とワークショップ開催

令和９年３月　スポーツツーリズムによる地域活性化ビジョン（仮称）策定

令和９年　いみずスポーツコミッション（仮称）発足

②スポーツ合宿等実証事業

フットボールセンターで７～９月に開催された大会等の主催者と参加チームにアンケートを実施。

（７大会のうち５主催者、１０６チームが対象）

スポーツツーリズムの可能性

フットボールセンター
令和７年度実績（利用者78,120人、観覧者34,194人）
令和7年度　U16プレミアチャンピオンシップIN富山（全国16の強豪校が参加、選手261泊宿泊）

海竜スポーツランド
令和７年度実績（全体69,811人、市内35,553人、市外34,258人）

◆既存の大会◆

富山マラソン（約14,000人　県外参加約45%）
高岡市～射水市～富山市。リピート率は約60%。

富山湾岸サイクリング（約1,500人　県外参加約60%）
氷見市～朝日町。スタート地点は毎年変更。

アランマーレ富山ホーム戦（年間約10試合、観戦者数合計8,500人）
小杉総合体育センター、リーグH女子ハンドボールチームホーム戦。

スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会（約600人＋家族　県外参加約70%）
小杉総合体育センター、親子参加型の柔道大会。

全国パークゴルフ交流大会（約400人）、**ミズノカップ全国パークゴルフ選手権大会**（約90人）
下村・南郷パークゴルフ場。　小杉パークゴルフクラブ。

◇全国規模の大会が期待できる競技◇
・相撲　・柔道　・ニュースポーツ（モルック）など

◇本市の特性を活かした取り組み◇
・海×スポーツ＝海老江海岸を活用したSUPやシーカヤック、ビーチヨガ
・大会×食＝大会参加者向けにベニズワイガニや地元グルメを楽しめる企画を実施
・合宿×観光＝スポーツ合宿と歴史、文化、食を組み合わせた滞在型プログラムの提供など

スポーツツーリズムで期待される効果

・経済効果（宿泊、飲食利用の増加、消費拡大、雇用創出）
・社会効果（健康づくり、市民交流、若者定着）
・地域効果（地域ブランド向上、シティプロモーション、関係人口拡大）

スポーツツーリズムの目指す姿

⇒地域活性化

スポーツで人が集い、スポーツで地域がつながり、スポーツで未来を創る
～スポーツを通じて人が集まり、滞在・交流し再び訪れるまちを実現する～



第３次総合計画　主要施策
１－７－１　スポーツレクリエーションの推進
２－１－１　商工業の振興
６－１－１　観光の振興
６－２－２　シティプロモーションの推進
７－１－３　新たな交流や多様なかかわり方の促進

スポーツ×観光×食×文化×自然×健康＝地域に好循環を生む